

## トラクターの 自動運行実演

JA全農岐阜

JA全農岐阜は、関市黒屋のJAめぐみの関カントリーエレベーターなどで、自動運行できるトラクターなど情報通信技術(ICT)を使った農業機械の実演会を開いた。

規模の拡大や作業の効率化、人手不足などを背景に、農業者の中でICT導入への関心が高まっている。全農は、県内のJA職員らに機器を実際に見てもらい、どう活用できるかを考えてもらおうと県内で初めて開いた。約130人が参加した。

完全自動やリモコン操作の4種類の機器が実演された。一部で販売が始まったロボットトラクターは人間



無人で運行するロボットトラクター＝関市黒屋JAめぐみの関カントリーエレベーター

の監視が条件だが、設定された農地内で完全自動で耕耘ができ、障害物や人を避けることができる。参加者の前で無人運行が実演された。

また、農業散布に使うドローンの飛行も実演され、指定された田畑の境界を読み取り、自動飛行する様子が公開された。

(田島豪人)